

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス みなたす		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 17日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている事。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている事。	支援記録に、支援計画を記載しており、スタッフ全員が、支援計画を常に把握している状態で支援を行うことが出来ている。 また、毎日の会議の中で、毎回目標を全員で確認して、担当だけでなく、チームワークをとり支援にあたる事ができている。 前の日の反省や気づき等も毎日の会議で行い、今後の支援に繋げている。	今後も、支援計画を全員が把握をすることができるように継続していく。 またその際、計画がすでに達成されていたりする場合など、計画の変更が必要であるなどの意見を会議で意見を言い合い、より良い支援に繋げていく。 今後も、継続してアセスメントを行いながら支援していく。
2	作業療法士等の専門職員が、個別で専門的な支援を行っている事。	評価表等を活用し一人一人に合わせ支援している。	児童さん達が、楽しみながら出来る事を増やし自信に繋げる支援を今後も考え支援に繋げていく。
3	保護者様の要望に応えられる様に環境が整っている。	事業所内が広いので、一人一人に合った環境が備わっている。 (運動療育や、静の活動等を同時に行う事が可能)	今後も、支援が充実出来る様に支援に必要な道具などを揃えていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	感染症などの拡大を懸念して避けている。	今後、長期休みの際の学童との交流や、地域の子供を呼ぶ様なイベント等の計画を行っていく。
2	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	現在、企画から出来ていない。	今後、外部評価を行うようにし、業務改善に繋げる事で、より良い支援を行える様にする。
3	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	事業所の玄関にはチラシなどを置き、情報提供を行っているが、頻繁に事業所に来られない保護者の方への情報提供の配慮が出来ていない。	今後は、保護者様が携帯などで気軽に見れるように情報を発信していく。